

【シリア人質事件の真相】

シリアで40カ月間拘束された人質事件の真相に迫る。

- シリア内戦と事件の背景
- 紛争地取材の現状
- 拘束の状況
- 監禁下における心理状態
- 拘束者は何者なのか
- 無きに等しかった日本政府の救出活動
- 数々のデマを拡散させたメディアとネット
- 旅券返納命令や発給拒否で常態化し始めた取材規制

【略歴】

1974年生まれ、埼玉県出身。一橋大学社会学部、湊ゼミ、少林寺拳法部。1997年卒。信濃毎日新聞で行政や大学、北アルプスし尿処理問題などを担当。休暇を使ってアフガニスタンやイラクを取材し、2003年からフリーとなってイラクやアフガニスタン、シリアなどを取材。2007-08年、イラクの基地建設現場で料理人に扮して取材し「ルポ 洗淨出稼ぎ労働者」（集英社新書）を著す。2012年にシリア内戦を取材。2015年6月にシリア北部で拘束され、2018年10月に解放された。近著に共著「戦爭取材と自己責任」（dZERO）がある。